

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

18428

自転車活用推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画費		
	目	交通政策費		
	大事業	交通政策事業		
	中事業	自転車活用推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市自転車活用推進計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	交通政策課	南 紀雄 435-1016
事業実施の根拠法令	自転車活用推進法		関連課	道路政策課 等		

1 事業内容

(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
事業目的	広域連携を行うことで、全国からサイクリストを呼び込み、にぎわいを創出する	サイクリング先進地域との広域連携の強化				
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	・太平洋岸自転車道終点モニタリングの維持・管理	・太平洋岸自転車道終点モニタリングの維持・管理	・太平洋岸自転車道終点モニタリングの維持・管理	・太平洋岸自転車道終点モニタリングの維持・管理	・太平洋岸自転車道終点モニタリングの維持・管理	
	・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理	・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理	・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理	・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理	・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理	
	・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会	・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会	・シェアサイクル事業の実施に向けた検討	・シェアサイクル事業の実施に向けた検討	・シェアサイクル事業の実施に向けた検討	
	・シェアサイクル事業の実施に向けた検討	・シェアサイクル事業の実施に向けた検討				

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	122	10	68	79	68	10	70	0	70	0
伸び率(%)	△97.7%	△99.8%	△44.3%	690%	0%	△87.3%	2.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,403	10,705	11,289	10,043	10,293	1,965	10,293	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11,403	10,705	11,289	10,043	10,293	1,965	10,293	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	122	10	68	79	68	10	70	0	70	0
所要人数(人)	正規職員	1.47	1.38	1.45	1.29	1.31	0.25	1.31	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管外出張旅費58千円、各種会議負担金10千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
要望活動回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
要望活動回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>自転車は、他の交通機関と比べて環境にやさしい交通手段であり、子どもから高齢者まで幅広い世代において、便利で身近な乗り物として、通勤・通学、買い物、サイクリング、観光・レジャー等、日常生活から余暇活動まで、さまざまな場面で利用されている。さらに、近年では、健康づくりや環境意識の高まりなどあって、移動手段として利用ニーズも増加しており、本市の実情に応じた事業の展開が必要である。</p>
見直し・改善内容	<p>和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理を行い、必要に応じて計画見直しの実施も検討していく。また、シェアサイクル事業においては、引き続き関連事業者（交通事業者や運営事業者など）と協議を行い、持続可能な事業として、実施に向けた検討を進めていく。</p>